

今週の株式相場見通し

- * 日経平均 23,200~23,800円 TOPIX 1,830~1,890
- * 期待材料 IoT社会の実現 IoT、AI活用による生産性改善
- * 不安材料 地政学的リスク 中国経済の成長鈍化 長期金利上昇

大発会の日経平均株価は昨年末比741.39円高となり、好調なスタートになった。しかし、過去5年の日経平均株価の1月のパフォーマンスは芳しくない。1-12月各月の月間騰落率を見ると、1月の上昇回数は2回にとどまっており、8月の1回に続いてワースト2位。月間騰落率の平均値も、1月は-1.7%と8月の-2.2%に次いでワースト2位になっている。消費税増税を4月に控えた2014年は-8.5%、原油価格下落への警戒感が高まった16年は-8.0%と、特に大きく下落した。また、為替市場において1月は前月までのトレンドが一変する傾向が見受けられる。12月中旬にかけて戻り歩調にあったドルインデックスが、今月に入りドル安円高トレンドに変化することで、日経平均株価が一時的に軟調な推移になることが警戒される。とはいえ、世界経済の拡大を背景とした企業業績の改善に伴う日経平均株価の上昇基調は維持されるものと思われ、株価が弱含む局面では、来期に向けて業績拡大が期待される日立製作所、トプコン、東京エレクトロンや、為替の影響を受けにくく高齢者人口の増加に伴い業績拡大が期待されるシルバー関連のキャリア、鎌倉新書、シルバーライフなどに注目したい。また、17年は半導体や5GなどAI・ビッグデータ社会のインフラ構築に必要な企業が株式市場を賑わせたが、18年はAI・ビッグデータを活用して業績を伸ばしてくる企業に注目が移ってくることが見込まれる。なかでも、閲覧者の行動データを詳細に集めることができるネット広告業界は、いち早く業績に変化が出てくるものと思われる。AI・ビッグデータを活用した広告効果の向上とTVからネットへの広告シフトを追い風に、アドウェイズ、DACHD、ソネットメディア、フリークアウトHDなどの業績拡大が期待される。18年の注意点として、株価が上昇する場合の展開の速さを挙げたい。これは、工作機械や半導体など過去のピークを超える水準に業績が拡大してきたことで投資家に慎重姿勢があり、決算や経済指標など足元の動向を確認してから一斉に動く傾向が見られることと、価格推移を重視するAI運用の台頭という2要因が背景にある。特にAIが運用市場で台頭してくると、初期段階ではテクニカル分析の重要性が高まるものと思われ、トレンドフォローの投資姿勢を重視したい。(1月4日現在、松本 直志)

今週の予定

	国内	海外
1/9(火)	11月毎月勤労統計(9:00)	[米]家電見本市「CES」(~12日)
10(水)	ローソン(2651)3Q決算	[欧]ECB政策理事会 非金融政策
11(木)	ファーストリテ(9983)1Q決算	[オーストリア]ウィーンオートショー(~14日)
12(金)	12月景気ウォッチャー調査 安倍首相バルト3国及び東欧3カ国訪問(~18日) 東京オートサロン2018(~14日)	[チェコ]大統領選挙(第1回投票)(~13日) [中]12月貿易収支 [米]12月消費者物価指数(22:30) [米]12月小売売上高(22:30)
13(土)	コンセッション フォーラム2018 日本成人病学会学術集会(~14日)	[欧]ユーロ圏財務相会合の新議長にポルトガルのマリオ・センテノ財務相が就任
14(日)	大相撲 初場所(~28日)	[米]デトロイトモーターショー2018(~28日)

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄

トヨタ (7203)

東証1部



	16年3月期		17年3月期		18年3月期(予)		株価(1/4)	7,413 円
	(億円)	前年比	(億円)	前年比	(億円)	前年比	業種	輸送用機器
売上高	284,031	4.3%	275,972	-2.8%	285,000	3.3%	売買単位	100 株
営業利益	28,540	3.8%	19,944	-30.1%	20,000	0.3%	PER(予想)	11.3 倍
税前利益	29,834	3.1%	21,938	-26.5%	22,500	2.6%	PBR(実績)	1.2 倍
当期純利益	23,127	6.4%	18,311	-20.8%	19,500	6.5%	ROE(実績)	10.7 %
EPS(円)	741.4		605.5		657.1		配当利回り(予想)	— %
配当金(円)	210		210		—		担当	多功 毅

18年3月期の配当は2Q末に100円実施、期末配当は未定

出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明会資料より

2Q 累計決算は、北米市場における競争激化、新型カムの立ち上げコスト発生等が利益圧迫要因となったものの、お家芸の原価改善努力や円安効果が寄与することで前年同期比 1.8%営業減益(203 億円減益)に留めての着地となった。前年比 203 億円の営業減益の内訳は、台数・構成差等の販売面の影響が 1,600 億円、労務費、償却費等の諸経費増加が 500 億円、スワップ評価損ほかの 103 億円の減益要因となる一方、米ドルを中心とした為替変動 1,000 億円、原価改善努力が 1,000 億円の増益要因となっている。

1Q 決算発表時に続き、2Q 決算発表時にも通期業績計画を上方修正している。1Q 時の通期営業利益計画からは 1,500 億円の上方修正となっており、内訳は為替変動 650 億円、諸経費減少 500 億円、原価改善努力 200 億円、販売面の影響 150 億円を 1Q 予想対比での増益要因として見込んでいる。特に販売が好調に推移しているのが欧州市場である。欧州においては、現地メーカーが環境対策の柱にディーゼル車を据えていたが、15 年に排ガス規制に関する不正問題が発覚した影響で、トヨタが強みを持つハイブリッド車への注目が高まっている。

各国政府は、中長期的な環境対策として電気自動車(EV)の普及を図る方針が固まりつつある。トヨタも9月にマツダやデンソーとEVの基盤技術に関する新会社設立、12月にパナソニックとのEV用電池の協業検討を発表する等、矢継ぎ早にEV開発強化の方針を打ち出している。18年についても、トヨタのEVに関する事業展開が注目される。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

特集 銘柄スクリーニング(対象：東証1部以外)

銘柄コード	銘柄名	市場	株価 (12/29)	今期				来期		
				決算期 年/月	経常利益 (会社) [百万円]	経常利益 (東洋経済) [百万円]	乖離率 東洋経済 予想と 会社予想	決算期 年/月	経常利益 (東洋経済) [百万円]	増益率 東洋経済 予想
3565	アセンテック	東マ	3,185	18/1	232	400	72.4%	19/1	450	12.5%
3679	じげん	東マ	902	18/3	1,930	3,200	65.8%	19/3	4,000	25.0%
3931	Vゴルフ	東マ	3,505	18/1	158	210	32.9%	19/1	280	33.3%
3987	エコモット	札ア	4,035	18/3	100	130	30.0%	19/3	190	46.2%
3140	イデアインタ	東JQ	1,044	18/6	376	480	27.7%	19/6	600	25.0%
5999	イハラサイエ	東JQ	2,164	18/3	2,600	3,300	26.9%	19/3	3,460	4.8%
3352	パッファロー	東JQ	1,170	18/3	270	330	22.2%	19/3	410	24.2%
2780	コメ兵	東2	2,289	18/3	1,330	1,600	20.3%	19/3	1,800	12.5%
3150	グリムス	東JQ	1,668	18/3	920	1,100	19.6%	19/3	1,350	22.7%
4367	広栄化学	東2	3,135	18/3	1,400	1,650	17.9%	19/3	1,800	9.1%
3891	高度紙	東JQ	2,826	18/3	1,500	1,750	16.7%	19/3	1,850	5.7%
3550	ATAO	東マ	2,875	18/2	500	580	16.0%	19/2	680	17.2%
7747	朝日インテク	東2	3,880	18/6	12,170	14,100	15.9%	19/6	14,600	3.5%
6998	タンクス	東2	2,821	18/3	670	770	14.9%	19/3	850	10.4%
3374	内外テック	東JQ	3,440	18/3	1,130	1,290	14.2%	19/3	1,440	11.6%
3437	特殊電極	東JQ	4,165	18/3	491	560	14.1%	19/3	610	8.9%
8071	東海エレ	名2	3,600	18/3	1,090	1,240	13.8%	19/3	1,340	8.1%
4635	東インキ	東2	3,430	18/3	1,500	1,700	13.3%	19/3	1,800	5.9%
6899	ASTI	東2	4,325	18/3	1,550	1,750	12.9%	19/3	1,850	5.7%
6943	NKK	東JQ	6,120	18/3	240	270	12.5%	19/3	340	25.9%
2471	エスプール	東JQ	2,920	17/11	571	640	12.1%	18/11	820	28.1%
5969	ロブテックス	東2	2,603	18/3	430	480	11.6%	19/3	530	10.4%
3198	SFP	東2	2,249	18/2	3,700	4,100	10.8%	19/2	4,300	4.9%
2216	カンロ	東2	3,245	17/12	850	940	10.6%	18/12	1,180	25.5%
7444	ハリマ共和	東2	2,662	18/3	1,900	2,100	10.5%	19/3	2,300	9.5%
3032	ゴルフ・ドゥ	名セ	907	18/3	136	150	10.3%	19/3	220	46.7%
5609	日鑄造	東2	1,633	18/3	500	550	10.0%	19/3	600	9.1%
6030	アドベンチャ	東マ	15,470	18/6	500	550	10.0%	19/6	700	27.3%
6185	ソネットMN	東マ	3,530	18/3	400	440	10.0%	19/3	460	4.5%
2162	nms	東JQ	2,146	18/3	1,300	1,400	7.7%	19/3	1,500	7.1%
2146	UT	東JQ	3,275	18/3	4,100	4,400	7.3%	19/3	5,000	13.6%
5982	マルゼン	東2	2,423	18/2	4,430	4,750	7.2%	19/2	4,850	2.1%
4695	マイスター	東2	891	18/3	760	800	5.3%	19/3	930	16.3%
6161	エスティック	東2	3,810	18/3	1,007	1,060	5.3%	19/3	1,160	9.4%
4962	互応化学	東2	1,568	18/3	925	970	4.9%	19/3	1,020	5.2%
2385	総医研HD	東マ	558	18/6	430	450	4.7%	19/6	550	22.2%
4849	エンジャパン	東JQ	5,310	18/3	9,000	9,200	2.2%	19/3	10,000	8.7%
5607	中可鍛	名2	697	18/3	1,370	1,400	2.2%	19/3	1,450	3.6%
3054	ハイパー	東JQ	1,060	17/12	315	320	1.6%	18/12	450	40.6%
3515	フジコー	東JQ	4,350	18/3	375	380	1.3%	19/3	450	18.4%
4649	大成	名2	858	18/3	415	420	1.2%	19/3	450	7.1%
7265	エイケン工業	東JQ	690	18/10	505	510	1.0%	19/10	520	2.0%
3922	PRTIME	東マ	3,550	18/2	347	350	0.9%	19/2	450	28.6%
6198	Career	東マ	3,080	18/9	715	720	0.7%	19/9	860	19.4%
3966	ユーザベース	東マ	1,588	17/12	487	490	0.6%	18/12	870	77.6%
6237	イワキポンプ	東2	3,215	18/3	2,290	2,300	0.4%	19/3	2,400	4.3%
6365	電業社	東2	2,129	18/3	1,325	1,330	0.4%	19/3	1,450	9.0%
5217	テクノオツ	東JQ	10,500	18/3	868	870	0.2%	19/3	950	9.2%
3925	ダブスタ	東マ	7,100	18/3	539	540	0.2%	19/3	620	14.8%
2928	RIZAP	札ア	2,088	18/3	11,983	12,000	0.1%	19/3	15,000	25.0%

* 会社四季報新春号の発売に伴い、東証1部上場以外の企業を対象に、今期経常利益予想について東洋経済予想が会社発表予想を上回っており、かつ東洋経済予想が来期についても増益予想となっている企業について12/20に検索したところ454銘柄が該当した。ここでは、その中から四季報コメント等を参考に50銘柄を取り上げた。並びは今期経常利益予想の東洋経済と会社発表の乖離率順。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室